



花の丘ドッグラン通信

発行：2010年6月

指定管理者 (財) 千葉県まちづくり公社

No.3

犬が中毒を起こす危険な植物?!

犬や猫は体をなめる習性があります。その時に、飲み込んだ毛やムカつきを取り除こうと植物(草)を食べて胃を刺激させて一緒に吐き出し健康を守ろうとする本能があります。

そのため、散歩中や家の中の植物を食べてしまいます。でも、散歩中の道端、公園、家庭の花壇にある植物も、犬にとっては危険な植物があります。

食べたことにより、嘔吐、下痢、腹痛、皮膚などにも影響が出たりします。場合によっては死にいたってしまうものもあります。家庭の花壇に植物を選ぶ時に注意が必要です。

●ユリ科の植物

少量で毒性が高く腎臓への重大な影響をもたらす植物でユリ科の植物にはユリ、ヒヤシンス、スズラン、チューリップなどです。

●スイセン

全草に有毒成分が含まれ激しい嘔吐、下痢、胃腸炎など

●シャクナゲ(ツツジ科)

シャクナゲの葉っぱにケイレン毒が含まれて嘔吐、下痢、よだれ、脱力、うつ、昏睡ののち死に至ることも

●カラコユ

胃腸炎、心臓への重大な影響をもたらす

●アマリリス(ヒガンバナ科)

全草。リコリンという有毒成分を含み特に球根の部分の毒性が高い嘔吐、下痢、うつ、食欲不振

●菊

道端に自生するノボロギクやシュウメイギクも有毒成分を含んでいます。嘔吐、下痢、肝臓障害、皮膚炎

●室内の観葉植物

ポトス、カポック、アロエ、サボテン、ポインセチア

●花壇によく植えている植物

アジサイ、アサガオ、オシロイバナ、キキョウ、クレマチス、クロッカス、ジンチョウゲ、スイトピー、ニチシソウ、マリーゴールド、リンドウなど

●道端や畑にある植物

ネギ、玉ねぎ、アスパラガス、アブラナ、アセビ、エノキグサ、サトイモ、セリ、ハギ、ヒガンバナ、モロヘイヤなど

他にも色々な植物に毒性を含んでいるものもありますので室内の観葉植物や庭の花壇など愛犬の届く場所には置かない、植えないことがいちばんの安全な予防策です。また、散歩なので道端の草などに除草剤などがまかれている可能性もありますので不自然に枯れている場所があったら気をつけましょう。

ペットショップにワンちゃん用の植物も販売されています。草を食べる習性のあるワンちゃんには用意をしてあげたほうがいいですね。

ドッグラン更新のお知らせ

更新手続きの期限が**6月30日(水)まで**になります。

更新手続きがお済みでない方はお早めにお願ひします。詳しくは郵送いたしました更新手続き書類をご覧ください。(注：更新手続き期間6月30日を過ぎますと登録抹消となり再度、ガイダンスに参加していただく必要があります。)

ドッグラン ボランティア お知らせ

次回のボランティア活動は

8月7日(土) 9時30分～10時30分

ドッグラン清掃会を予定しております。

ご参加いただける方は当日、9時30分にドッグラン入口にお集りください。ご協力お願い致します。

これからの時期のお散歩・・・

日中のお散歩は避けた方がよいでしょう。散歩する道路のアスファルトは熱く焼けていて、非常に高温になっています。裸足で歩いているのと同じなので、やけどの原因にもなります。また、地面に近いワンちゃんは地面の熱の影響をうけやすく熱中症の心配があります。

夕方のお散歩もアスファルトに熱が残っているので注意が必要です。こまめに水分を補給して長距離の散歩は控えましょう。

ワンちゃんの体調をよく観察して無理のない散歩を心がけましょう。

ドッグランの地面は土や草地ですが油断は禁物です。

ワンちゃんも夢中で遊んでいますのでこまめに水分を補給してください。

【ドッグラン利用時間のお知らせ】

7月1日(木)～8月31日(火)の夏季期間の閉場時間が**午後6時30分まで延長**になります。

駐車場ご利用時間は午後7時までとなります。

※本紙に記載されている内容については、都合により変更になる場合があります。詳しくは下記までお問い合わせください。

北総花の丘公園管理事務所

〒270-1341 印西市原山1-12-1

Tel:0476-47-4030

<http://www.cue-net.or.jp/kouen/hana/>